

2025年度第1回阪神競馬特別レース名解説

<第1日>

○ すみれステークス（L）

すみれは、スミレ属の多年草。春に花柄を出し、濃紫色の花を横向きに咲かせる。名は、花の形が墨入れに似ていることに由来する。阪神競馬場がある兵庫県宝塚市の市花としても有名。花言葉は「誠実」「謙虚」「小さな幸せ」。

○ 阪神競馬場リニューアルオープン記念

本競走は、阪神競馬場のリニューアルオープンを記念して実施される。

多様な指定席の設置、グルメエリアの充実、お子様向け屋内遊具施設「あそび馬！」の新設や公園地区「キッズガーデン」のリニューアルなどにより、お一人様からグループ、ご家族連れまで、幅広く楽しんでいただける施設へと生まれ変わった。

○ 仁川ステークス（L）

仁川（にがわ）は、六甲山系に源を発し、武庫川に注ぐ川。また、阪急電鉄今津線の駅名にもなっており、阪神競馬場の最寄り駅である。

<第2日>

○ 淡路特別

淡路（あわじ）は、旧国名のひとつ。現在の兵庫県淡路島を指す。淡路島は、瀬戸内海最大の島。明石海峡大橋で本州と、大鳴門橋で四国とそれぞれ連絡している。「古事記」「日本書紀」によると、日本で最初にできた島とされており、島内には国生み神話に縁のある場所が数多く存在する。

○ 伊丹ステークス

伊丹（いたみ）は、兵庫県南東部の市。古くは伊丹氏の城下町として発展し、江戸時代に入ると酒造で全国的に知られるようになった。現在は大阪・神戸の衛星都市として位置づけられる。また、同市および大阪府豊中市・池田市にまたがる大阪国際空港は、伊丹空港とも呼ばれ、世界の空港の定時運航遵守率ランキングで1位を獲得したことがある。

○ チューリップ賞（GⅡ）（桜花賞トライアル）

本競走は、1994年にオープン競走より格上げされた重賞競走。2018年からGⅡ競走に格付けされている。『桜花賞』と同じ舞台で実施されることから、同競走を目指す3歳牝馬にとって重要な競走となっている。なお、第3着までの馬には『桜花賞』への優先出走権が与えられる。

チューリップ（Tulip）は、ユリ科の球根植物。園芸植物としての人気が高く、品種改良によってさまざまな色や形が存在する。茎が出て幅広い葉が数枚つき、4～5月頃に大きい花を1輪咲かせる。花言葉は「思いやり」「博愛」。

<第3日>

○ 千里山特別

千里山（せんりやま）は、大阪府吹田市中西部の地域名。大正時代、日本初の田園都市として千里山住宅地が造成され発展した。関西大学千里山キャンパスがあることでも知られ、学生街としての性格も併せ持つ。

○ なにわステークス

なにわは、大阪市付近の古称。仁徳天皇の難波高津宮（なにわのたかつのみや）や孝徳天皇の難波長柄豊碕宮（なにわのながらのとよさきのみや）など、皇居が造営された地として知られる。

また、浪速（なにわ）は、大阪市中部の区名。繁華街「新世界」にある通天閣は、大阪のシンボルとして有名。

○ 報知杯フィリーズレビュー（GⅡ）（桜花賞トライアル）

本競走は、1967年に『阪神4歳牝馬特別（報知杯桜花賞トライアル）』の名称で創設された重賞競走。競走名は2度の改称を経て、2001年より馬齢表記の変更に伴い現在の名称になった。なお、第3着までの馬には『桜花賞』への優先出走権が与えられる。

スポーツ報知は、報知新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

＜第4日＞

○ アルメリア賞

アルメリア（Armeria）は、イソマツ科の多年草。花壇や鉢植えなどで栽培する。花の色は桃・白・赤などで、3～4月に小球状の花をつける。名は、ケルト語で「海に近い」という意味で、和名で呼ばれるハマカンザシとともに海浜性植物であることを表している。花言葉は「思いやり」「心づかい」。

○ 淀屋橋ステークス

淀屋橋（よどやばし）は、大阪市の土佐堀川に架かる橋。名は、江戸時代の豪商「淀屋」に由来する。中之島と船場を結び、御堂筋の一部となっており、国の重要文化財にも指定されている。周辺には企業や大阪市の関係機関のビルが立ち並び、大阪を代表するオフィス街となっている。

○ 大阪城ステークス（L）

大阪城（おおさかじょう）は、大阪市中心部にある城。豊臣秀吉が1583年から3年をかけて築いたとされる。1615年の大坂夏の陣で落城し焼失したが、その後再建され、幕府の直轄地となり城代が置かれた。以後も数度の火災に見舞われたが、1931年に現在の天守閣が再建された。周辺は大阪城公園として整備され、大阪城ホールや梅林などがある。

＜第5日＞

○ 阪神スプリングジャンプ（J・GⅡ）

本競走は、1999年に創設された障害重賞競走。創設時は3800mで実施されたが、翌年より3900mに距離が延伸された。

スプリング（Spring）は、「春」を意味する英語。

○ ゆきやなぎ賞

ゆきやなぎは、バラ科の落葉低木。「雪柳」とも書く。春になると白色五弁の小花が枝上に並んで咲き、枝に雪が積もったように見える。花言葉は「愛嬌」「殊勝」。

○ 難波ステークス

難波（なんば）は、大阪市中心部から浪速区にまたがる地名。なんば駅を中心とする一帯のこと。道頓堀、千日前などとともに「ミナミ」と称される繁華街をなす。

なお、ミナミの中心施設のひとつでもある「なんばパークス」内には、JRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ難波がある。

○ コーラルステーキス（L）

コーラル（Coral）は、「サンゴ」を意味する英語。サンゴは、サンゴ科サンゴ属の刺胞動物の総称。また、その骨軸。サンゴの中でも深海に生息する硬質のものは古くから宝石として珍重され、日本では3月の誕生石としても知られている。

<第6日>

○ 皆生特別

皆生（かいけ）は、鳥取県米子市の温泉地。同地域は、1981年に日本初のトライアスロン大会が開催されたことから、日本におけるトライアスロンの聖地としても知られる。

○ 甲南ステーキス

甲南（こうなん）は、六甲山南部の地域。六甲山を背景にした神戸市の山手で、一帯には高級住宅街が広がっている。

○ 米子城ステーキス

米子城（よなごじょう）は、鳥取県米子市にあった城。近世の城郭は、1591年頃、毛利一族の吉川広家が築城したのが始まりとされ、「山陰随一の名城」とも称される壮麗な城であった。明治維新後に取り壊され、現在は、本丸、二の丸、三の丸の一部が国史跡に指定されている。

なお、米子城跡のある米子市には、JRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ米子がある。

<第7日>

○ 立雲峡ステーキス

立雲峡（りつうんきょう）は、朝来山の中腹に位置する峡谷。春には樹齢300年を超える老桜を筆頭に山桜やソメイヨシノが咲き誇り、山陰随一の桜の名所として但馬吉野と呼ばれている。立雲峡のある朝来郡山県立自然公園の展望台からは、「天空の城」と称される竹田城跡を望むことができる。

○ レグルスステーキス

レグルス（Regulus）は、しし座のアルファ星。日本では春の大三角を構成する星の1つにデネボラがあるが、欧米ではレグルスとなっている。ラテン語で「小さな王」の意。

○ 若葉ステークス（L）（皐月賞トライアル）

若葉（わかば）は、芽を出して間もない葉のこと。特に、初夏の木々のみずみずしい葉を言う。なお、第2着までの馬には『皐月賞』への優先出走権が与えられる。

<第8日>

○ 讃岐特別

讃岐（さぬき）は、香川県の旧国名。かつて五畿七道の南海道を構成していた六ヶ国のひとつで、現在の香川県にあたる。

なお、香川県高松市には JRA の場外勝馬投票券発売所であるウインズ高松がある。

○ 鳴門ステークス

鳴門（なると）は、徳島県北東部の市。かつては製塩業で発展し、現在は製薬業・養殖業・農業が盛ん。同市の東部に位置する鳴門海峡は、内海側の播磨灘と外洋側の紀伊水道との干満による海面差が大きいため、潮の流れが速くなり、渦潮が生じることで知られている。

○ 阪神大賞典（GⅡ）

本競走は、1953年に創設された重賞競走。当初は芝2000mのハンデキャップ戦で実施されていた。1956年に負担重量が別定重量に変更され、その後2度にわたる距離の延伸を経て、1974年から現在の3000mとなった。また、1987年より実施時期が12月から現行の3月に移設された。

なお、第1着馬には同年の『天皇賞（春）』への優先出走権が与えられる。